

ハスの実がより

社会福祉法人
ハスの実の家
12月号
2019年・No. 465

〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2 TEL (0776) 78-6743 FAX (0776) 78-6744 Eメール honbu@hasunominoie.com

ハスの実の家 第7回 海風フェスタ



～つなげよっさ みんなのいのち わたしの未来～

主な記事

- 2 ★すくらむ
- 3 ★家族のページ
- 4～5 ★特集記事：仲間たちの歌は希望。届けたい想い
- 6～7 ★特集記事：ハスの実の家第7回海風フェスタ～つなげよっさ みんなのいのち わたしの未来～

- 8 ★交差点・会員のお名前
- 9 ★今月のにやりホッと ハスの実発信
- 10 ★ムーブ
- 11 ★物品深謝 ★ご寄付深謝
- ★新職員紹介 ★お知らせ等
- 12 ★読者クイズ ★あとがき



あくらむ



〈20周年コンサート〉

私は、ハスの実の家が創立20周年のコンサートをされた時に、武生センター合唱団の一員として参加させていただきました。その時20歳でした。ハスの実の家のこともその時知りました。仲間たちが生き生きうたう姿に感動し、負けじと私もうたいました。創作曲をうたうということも初めてで、ハスの実の仲間のこと、職員さん、ご家族の思いや願いを、歌や朗読で聞いて、歌って、ハスの実の事を知っていききました。

その創立20周年コンサートの歌の中で思いついて残っている歌があります。「20年が過ぎて」という歌です。1番をソロでうたわせていただきました。うたうことを特に学んでいたわけでもない私が、若さの勢いだけで一生懸命うたいました。聴いていただく沢山の方々の心に届くようにと、考えるきっかけになりました。そして、今もその課題を追い続けています。

「20年が過ぎて」

清川 益彦・カズ子 原詞
ぐたにゆうじ 曲

1、お前が生まれて 20年が過ぎて
父さんも母さんもシワがふえました
まぶたを閉じて よみがえってくるものは
なぜか悲しい つらいことばかり
泣きさけぶお前の 体を抱いて
歩きまわった 吹雪の夜の道

2、ある日届いた 入学式の通知
父さんも母さんも とてもくやしかった
夢にまで見たの お前のランドセル姿

だれも行けなかった 身体検査の日
小さなお前の 小さな笑顔
涙でかすんでたけど 今も忘れない
3、お前の笑顔 お前の泣き顔
父さんと母さんを いつも歩かせた
仲間の中で たくましく育つお前
そんな姿に 胸が熱くなる
がんばってよかった 本当に良かった

仲間たちとともに

武生センター合唱団 岸下由美子

そんな日が きっときつと来るように

4、お前が生まれて 20年が過ぎて
父さんも母さんも たくましくなった
だけどたつたひとつ 今もはずかしいことは
お前と同じ 年頃の子を見るととき
笑ったその子に お前がだぶり
健康であったらと そんなことを思う
お前が生まれて 20年が過ぎて

父さんも母さんもシワがふえました

あとでわかったのですが、この歌のモデルは、私と同じ名前、同じ歳の由美子さん。そして、ハスの実の家と同じ歳。とてもご縁を感じるのです。

〈仲間たちと楽しく〉

その後も、節目のコンサートには参加させていたできてきましたが、3年前のきょうされん大会 in 北海道に参加させていたことがきっかけで、高校でのうたう会、日常の演奏活動などに一緒に参加させていただくことも増えました。

最近の活動では、7月に開かれたハスの実の家の創作合宿、10月にはきょうされん全国大会 in 愛知、11月の海風フェスタ。創作合宿では、新しい曲が5曲も出来て、すごいなと思います。職員さんが積極的に頼もしかったです。

きょうされん大会は、今回で3回目。今年初めて仲間と同室の宿泊で緊張しましたが、同室の亀田節子さんは「自分のことは自分で」がしっかりり身についておられました。朝も早起きで、寝坊のわたしを起こしてくれました。

海風フェスタでは、ハスの実バンドの格好いい伴奏でうたうことができました。

これからも、仲間たちとともに活動する中で、仲間や仲間に関わる方々に学びながら、聞いてくださる方の心に届くようにうたえるようがんばっていききたいと思います。

家族のページ

～仲間への想い～



野口淳子さん
(美由紀さん・圭介さん母)

今まででも、そして、

これからも



お母さんより

通所施設の始まりと共にお世話になっている圭介は現在33歳。生活介護の紙すき班で毎日マイペースで頑張っています。細かい作業が得意で、家の柱に折り紙で折った鶴やハサミで切り抜いた形の紙などが両面テープで張り付けられています。休みの日は何故か早起きで大好きな【白いご飯】と【卵焼き】があれば笑顔の圭介です。花粉症やアレルギー症状で痒みがあり、血液検査の結果、食べてはいけない食材の時は栄養部で考慮して下さるので有り難いです。

姉の美由紀は、海風フェスタの日に36歳になりました。チェーンソーや草刈り機等の高音が苦手です。就労の食品加工班で、ワッフルを焼く仕事に向いている様子で、自分で立てている1ヵ月毎のスケジュール表で精神面が落ち着いてきた様に思えます。「まるごとバナナ、〇〇さんが注文してくれたよ！」と嬉しそうに話してくれます。販売に行き、自分の作った商品をお客さんが買ってくれる事で自信につながっているのだと思います。他の施設の商品も買って分けてくれるので私も楽しみです。

美由紀さん・圭介さんの一言

毎日お仕事頑張ってます。
私達が作った商品買ってくださいね!!



まるごとバナナ

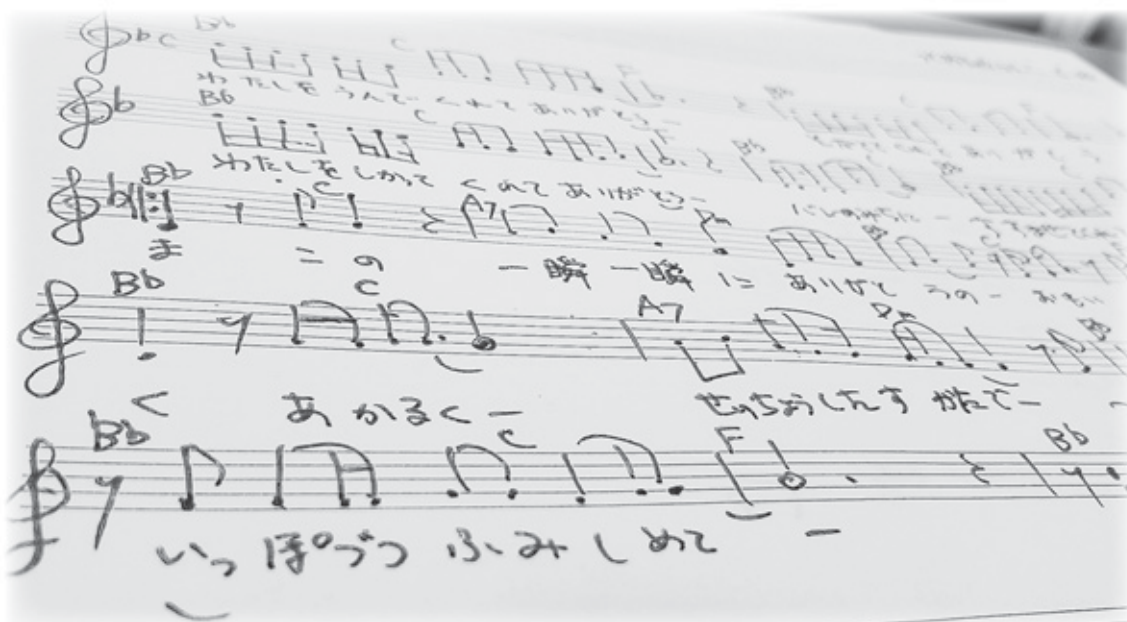


手すきハガキ

今後も移動支援サービスで沢山の方々の助けを受けながら楽しんで欲しいと思います。子供達の将来や、行動面での悩みはありますが最近、物忘れの多くなった私と話していると口癖のように「何とかなる。何とかなる。」と元氣付けてくれるので心が温かくなります。ハスの家の皆様、これからも親子共々よろしくお願い致します。



届けたい想いー



12月3日。「第13回セルフ総合スキルコンテスト」が福井市で開催されました。農耕班のヒカルさんは「私の主張」部門に出場が決まっていました。ヒカルさんは得意の「ラップ」で挑戦するとのこと。7月には「ハスの実の家」うたづくり合宿「ラップ特有の韻を踏む」技を自由に、見事に使いこなし、MC HIKARUと堂々と書き添えて『いつかの農耕班』を持ってきたのです。

・・・ヒカルさんの他には12名の出場者がエントリーしていました。

これまで辛かったこと、嬉しかったこと、事業所に出逢えて幸せなこと、願いを叶えたこと、これから挑戦してみたいこと・・・一人ひとりの主張がしっかりと聴き手の心に響き、強く心やさしい発表でした。

そして遂に、ヒカルさん。「これまで他の事業所で一生懸命頑張っても一日15分か20分、長くて30分ほどしか仕事ができなかったこと。でも、今の僕は、農耕の仕事を一週4時間くらい頑張って働いてるんですよ。頑張ると、みんなに「ありがとう。助かる」と言われ、嬉しくなると、もっと、仕事のできる男になりたいーと思うんですよ。「ゆっくりと大きく読み終えると、激しくも心地いいラップビートにのってヒカルさんはステージで呼びかけ、飛び跳ねダンスし、うたうのでした。

「いつかの農耕班」

オレは岩崎、あゆは浜崎、パンは山崎、いやいやハスの実。やろうぜこの先。

オレはA型、ここはB型、してる仕事は農耕、やるぜ親孝行。

なかまは畑ハダッシュ、トラクターもダッシュ、まるで鉄腕ダッシュ。

水やり、成長する野菜、その際、オレの思いやりが重要。ティスらせねえぜこの現状。

がんばればスキルは光るぜ。オレは岩崎光だぜ。金は二の次、農耕のなかまの絆強すぎ。

マジで熱いぜ日差し。でも負けない志。だから出来るぜ、オレたち農耕の仕事だぜ

農耕がくれた希望、畑で見た空にはレインボー。夢をくれたあなたに感謝。夢へと向かうロケット発射。

結果はなんと3位。凄いよ！ きっとヒカルさんのこの間の練習は、ヒカルさん自身が過去の自分と、いま未来を想い描く自分の、その間にある矛盾を乗り越え拓く「ちから」をじっくりと自由に蓄え、自らに引き寄せた時間だけに違いない。

「想いを記す」

7年ふりに行われた「うたづくり合宿」では、仲間、職員、ボランティアや高校生らが枠を越えて一緒に作詞・作曲をしました。参加者のほとんどがうたづくりの経験がなく、合宿前は「作詞も作曲もよく分からない。音楽センスもないし・・・」と緊張している職員も多かった。

1日目、事前に日中班・ホームで「はじめ」をテーマに考えてきた詞を読み上げ、背景や感想について語り合いました。「仲間はこう思っているのかな」想像力を膨らませ言葉一つ



—仲間たちのうたは希望。

ひとつ選ぶことは難しく悩みましたが、仲間たちや支援のごとについて今まで以上に深く考える機会になりました。持ち寄った詞の一部を紹介いたします。

「一番にパンの販売先を確認するんだ。今日は誰がいくのかな。パンは売れるかな（パン工房の歌）」、「昨日はあんまり眠れなかったから辛うけど毎日気持ちよく朝を向かえて過ごしたい。体操はちよっと疲れるけれど今日も一日がんばろう。（のびのび班の歌）」

「はじまり」の捉え方は班それぞれで、仕事のはじまり、朝のはじまり、はじめてみたいこと・・・たくさんの想いが詰まった詞はどれも素敵なものばかりで、仲間のいきいきとした様子が思い浮かびました。また、感想を伝えあつたことで「こんな捉え方もあるのか！」と新たな発見もありました。最初は受け身だった職員も積極的に発言し、お互いの想いや価値観を共有できた有意義な時間でした。

「詞をいつたこ」

仲間と出会い笑顔になった 優しくなれた
仲間と出会い勇気がわいた 声をあげた
私の中にあるいろんな感情を引き出してくれて ありがとう

これは、ヘルパーステーション「ともに」職員の白谷妙子さんが創られた詞の一部で、曲が創られ、「いつた」として完成しました。

「詞の温かき・優しいイメージを大切に、誰もが歌いやすいメロディにしよう。」詞を何度も読み返し、込められた想いやイメージを音に

していききました。「大切な仲間とこれから一緒に笑顔で過ごすためには差別、制度などいろいろな壁と戦っていかねければいけない」。この意見から「声をあげた」というフレーズが付け足されました。この歌には職員・仲間たち間で生まれた温かさ、仲間を守っていく強さ・覚悟が込められました。

「ことば、から、うた、へ」

ハスの実の家のうたは、「仲間たち、職員、家族、時には地域のみなさんのやさしく束ねた想いや願いを素材にして作詞・作曲」します。「自分たちの暮らし」「身近な人たちへの想い」「しごとについて」「平和への願い」などの様々なテーマのもと、「ことば」が集まりひとつの「うた」になっていきます。そんななかで、仲間たちならではの発想や視点、表現に触れてハッとすることがあります。

ああ、こういう感じ方もあるんだという、ものの見方、感じ方など、改めて気づかされること、勉強になるなあと思つこともたくさんあります。時には署名活動や要望活動などの直接的な要求運動と共に「うた」は人々の心の中にそれぞれの立場や主張をも越えて真っ直ぐに願いの種を育てるのでしょうか。そっと温かく、時には強さや、覚悟を、これも大切に悩み考えて、相手に受け取ってもらおう「いつた」だと思います。だからこそハスの実の家の「うた」という表現活動に限りない可能性や価値を想つのです。

ハスの実の家の「いつた」コンサート、
が繋いでいきたいもの

2006年、障害者自立支援法（現総合支援法）が施行されてから、全国の多くの事業所で仲間たちや職員のうたごえが消えたと言われます。「自立とは障害福祉サービスを受けないこと」憲法に保障された社会保障、権利が歪められ、成果や効率化、仲間たちの「働きたい」までもが数値化され煽られる。笑い声や楽しい会話さえも消えてしまつたのです。（私たちの街の中にはうたごえや笑い声、楽しい会話は残っていますか？ギスギスしていませんか？）

こんな時代だからこそ、35年も前から続く「ハスの実のうたと仲間たち」、いや、家族も職員も、地域の人たちも、高校生も子供たちも、音楽家でさえ、その其々の自らの矛盾を乗り越え拓く「ちから」に気づき揺さぶられ続けてきたのだと心から思つたのです。

ハスの実の家の「いつた」コンサートが、世代も年齢も障害の有無を越えて、どんな人とも感じあい、つながりあえる、そんな役割をますます豊かにしっかりと担えたらと思います。

へたにゆうじ・木村 知子・阿部 晃三





～つなげよさ みんなのいのち わたしの未来～

第7回海風フェスタを振り返って

情宣担当 富澤小百合

今年度、情宣担当として、多くの地域の方にご来場して頂けるフェスタを、念頭にチラシ作成や配布、またテレビでのPRやパンフレット作成を行いました。特にチラシ作成や配布では、実行委員として参加して下さった後援会や民生委員の方々などの助言を参考に、チラシを見て『行ってみたい』と思って頂けるよう、試行錯誤しながら完成させ、地域や行政など幅広く配布しました。お陰様で各担当者や関係者の皆様の協力のもと、たくさんの方にご来場して頂きました。どうもありがとうございます。反省すべき点や新たな課題も見えてきましたが、次回に向けしっかりと検証し、これからも『地域との繋がり』を大切にしたフェスタづくりを目指したいと思います。



ハスの実の家第7回海風フェスタ



海風フェスタを振り返って

企画担当 荒谷あゆみ

今までは参加する側でしたが、今年は企画担当として参加させていただきました。企画という重要な部分を担う中で、フェスタ前日まで不安が常にありましたが企画担当の職員や事務局と何度も会議を重ね、少しずつフェスタが形になっていく様子を直に体験できとても貴重な経験ができたと思います。フェスタ当日も来場された方や仲間がとても楽しく参加している姿を見て、「広める」、「活かす」、「深める」、「楽しめる」という4つのポイントを意識しながらフェスタを進めることができたと思え、創り上げる側に携われた事を誇りに思いました。今回の経験を活かしながら今後の海風フェスタを盛り上げていく一員として頑張ろうと思います。

わっしょいー！
わっしょいー！
わっしょいー！



今回の海風フェスタは「つなげよっさ みんなのいのち わたしの未来」をテーマに掲げ、今と未来の社会を改めて見直す機会とさせていただきました。

当日は天候にも恵まれ、500名近い方々にご来場いただき、ステージ企画や体験企画を通して、楽しい時間を過ごす事ができました。また防災について、あわら総務課防災対策室ならびにあわら市嶺北消防組合あわら消防署からのご後援をいただいで、災害時の状況を知ることができ、多くの場面で学ぶ機会ともなりました。

ハスの実の家第7回海風フェスタにご来場・ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございます。これからも、地域に根ざした取り組み、地域づくりを行っていきたく思います。

海風フェスタ実行委員会 事務局長 石井 千草

交差点 後援会

ミニバザー大成功

11月10日(日)、「海風フェスタ」においてミニバザーを開催したところ、開始前からお客さんが並び、その後も途絶えることなく、大賑いとなりました。この結果、昨年の約3倍で、過去最高となる **78,050円** の売り上げとなりました。



物品を提供してくださった方々、値付けなどの準備を手伝ってくださった方々、ご協力ありがとうございました。

今後も、エコにつながる活動として、ミニバザーを開催していきたいと考えていますので、地区の行事等での出張開催の依頼や物品の提供をお願いします。

年末年始はやっぱり昆布

お歳暮に！お正月の準備に！

カワモトの昆布を是非お使いください。

12月中は全品

10% OFF



早煮昆布
100g 600円



贈答用詰合せ「雅」
5,000円



贈答用詰合せ
「海からの便り」
3,000円

- 根昆布入りとろろ (65g 500円)
 - おやつ昆布 (65g 500円)
 - 赤しそごはん (80g 500円)
 - ひじきごはん (60g 400円)
 - カットわかめ (30g 500円)
 - わかめスープ (60g 400円)
 - 板わさごまサンド (135g 500円)
- などの商品も扱っています。

お求めはわくわくセンターまで TEL 0776-78-7750

継続会員・新入会員お名前

10・11月度

*印は新入会員です。順不同、敬称略。

あわら市 堂下満栄・藤田良二郎・富田登貴子・八木秀雄・深見和子・簾谷光男・
有房諒栄・奥 清子・浅藤 望・有限会社つるかめ・*齊藤 歩
坂井市 田中康博・新開典子・粟津俊明・南 知子・近藤守人・倉内美幸
データシステム(株)・坪田洋子・玉村洋子・木谷敬一・木谷栄子
福井市 庄野康子・坪田博子・森 透・加藤赫子・山田耕一・芦野暎子・
社会保険労務士事務所 村野清美・広部英幸・柴田商会・
*株式会社Copanda 代表取締役 里 裕一
越前市 山田真澄・西ヶ花清美

石川県 島 隆雄
京都府 峰島 厚・築岡 円
愛知県 久田隆章
大阪府 土井睦浩
東京都 比企通男・藤井健太
北海道 藤井力夫

今月のにやりホッと

「発見！！はんぶんぶん。」

ユキエさんの大好きな言葉「はんぶんぶん」のルーツを見つける事ができました。

今年【おかあさんといっしょ】が60周年。テレビで歴代の人気曲が流れていました。その中に『ふたりはなかよし』という曲に「はんぶんぶん♪ぶんぶん♪」というフレーズがありました。ちょうどユキエさん世代の曲だったのでお母さんに確認。ユキエさんもそのテレビを見ていたようでその曲を聞いて喜んでいただとのこと。カラオケの時に流してみると満開の笑顔！！「これこれ～！！」と私に教えてくれているようでした。“嬉しい事は、2人分♪悲しい事は、はんぶん♪”ユキエさんは何でも誰かと共有したかったのかな？

ヘルパーステーション ともに 南 えり子



カラオケの曲を入れる機械でヘルパーの手を取り機械の文字盤を使い「あいくりのうたをするの」と教えてくれます。その後「アイスクリームのうた」を入れると楽しそうにマイクを持って(*^。^*)



ハスの実☆発信!! ハスの実わくわくセンターよりお知らせ!

ハスの実だより

最優秀賞

をいただきました!!



11月2日(ユウ・アイふくい)にて開催された福井県社会福祉協議会「ふくし広報コンテスト2019」において、ハスの実だよりが最優秀賞を頂きました。審査員の方々より、モノクロながら利用者の豊かな表情や、動きのある写真からいきいきとした様子が伝わってくる、「すくらむ」は読みごたえがあり、法人の理念をよく表しているなど高評価を受けました。これからも皆さまに楽しんで頂ける誌面づくりをしていきます。



第43次 国会請願署名・募金にご協力ください。

4-7

ハスの実だより読者の皆様

日ごろから、ハスの実の家をご支援いただきありがとうございます。これまで、私たちは誰もが安心して暮らしを実現するために様々な取り組みを皆様のご協力を得ながら進めてまいりました。

わたしたちハスの実の家は、障害のある人たちが働く事業所・グループホーム・居宅介護事業所・相談支援事業所などを中心とした全国で約2000カ所の会員からなる「きょうされん」に加盟をして、日頃から障害のある人たちの暮らしをゆたかにするための制度の拡充を求め、政策提言や要求活動、研修活動などを続けています。

さて、障害者権利条約は、2006年12月13日に国連総会にて採択され、我が国は2014年1月20日に批准をしました。国内の法制度や社会全体の意識が一度に変化することはできませんが、きょうされんは障害のある人たちが『あたりまえに働きえらべる暮らしを』の実現を目指し、粘り強く取り組みを広げてきています。

しかし、現在の障害分野では、ここ数年、成果主義が強められ、就労系事業所では平均工賃の高い事業所がより多くの報酬を受け取る等、生産性や目に見える成果のみを評価した報酬体系となりました。障害者権利条約に掲げられた、障害のある人が障害のない人と同等に生きることのできる社会を実現するためには、日本の障害福祉関連予算を、せめてOECDの平均並に引き上げることが、欠かすことのできない優先課題です。

つきましては、ぜひともこのような状況をご理解いただき「きょうされん第43次国会請願署名・募金運動」にご支援とご協力を賜りたく心よりお願い申し上げます。

お近くにお越しの際にはお持ちいただくか、もしくは同封の返信用封筒をお使いいただければ幸いです。

今年も、皆様の一筆を大切に、国会へ届けたいと思います。ぜひご協力お願いいたします。もし、署名用紙が足りない場合には、ご連絡を頂ければお届け致します。

2019年 12月



【お問い合わせ先】

〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
 社会福祉法人 ハスの実の家 組織・地域づくり委員会
 担当者：阿部 晃三
 電話 0776-78-6743
 FAX 0776-78-6744

物品深謝

10・11 月

順不同お許しください

森瀬敏満様、理容アマノ様、出店様、三上和夫様、
黒川清和様、吉江ゆかり様、鶴誠一郎様、梅田久江様、
滋賀県栗東市治田西学区民生児童委員協議会様、
表茂美様、仁愛大学様

ご寄付深謝

10・11 月

順不同お許しください

ハスの実の家
匿名家族会様、玉森一ノ様、黒川清和様、塩田照子様、
日元久勝様、春江貨物株式会社様 815,000 円

ハスの実の会 (後援会)
芦野暎子様、富田登貴子様 4,000 円

新職員紹介



所属 グループホーム アルバイト
黒川 裕生

9 月 2 日からこの施設で仲間の支援をするアルバイトをさせていただいています。自分は医療従事者になるためにここで働きながら学んでいるので、ここでの仲間との生活支援を通してこれからの自分の学習や人生に活かしていけるよう努力します。まだまだ未熟な所もありますが精一杯頑張ります。よろしくお祈りします。



所属 生活介護事業生活支援員
黒坂 明記

10 月 1 日に入職しました。初めての職種なので不安も多いですが、仲間や職員さん達と仲良くやっていきたいと思っています。ご指導よろしくお祈りします。



所属 生活介護事業生活支援員
南出 修

今年度 9 月より紙すき班に所属になりました。過去 4 年間 A 型事業所に勤めておりましたが、生活介護はなかなかなじみがなく大変でした。戸惑いもある中、諸先輩方の温かい指導のもと日々頑張っております。今後とも先輩方の御指導をお願いいたします。

シーツ、古着等
お譲りください!

わくわくセンターでは仲間の仕事としてウエス (油拭き布) 製造を行っています。
只今、材料の布地が不足しています。ご家庭で使わなくなったシーツ、古着等ございましたらぜひ、お寄せ下さい。

●担当: わくわくセンター 東
0776-78-7750

後援会会員様より

10 月号のたよりを読んで後援会会員様より
お便りを頂きました。
ありがとうございます。



継続は力ですね! ころうさまです。
加藤 赫子様

すべての人の命が大切にされること。このあたりまえのことがしっかり身につく世の中であることを願います。
T・M 様

ハスの実のパン大好きです。これからもよろしく。
T・T 様

忙しくなかなか行けないものですが、久々に仲間たちに会いたいものです。
藤井 健太様

～職員氏名誤記載の
お詫びと訂正～

10 月号 11p 退職のお知らせの職員の氏名の記載に誤りがありました。田幡順子さん (誤) 田→ (正) 多に訂正いたします。心よりお詫び申し上げます

みなさまからの御意見・御感想・お便りをお待ちしております。

ハスの実だより
あとがき



一年で最もあわただしい季節になりました。私事ですが、今年には息子が高校受験を控え、例年以上にあわただしくなりそうです。と言っても私は息子の選択を応援することしか出来ませんが。。この前まで小さな赤ちゃんだった息子がもう15歳。子供の成長はあっという間ですね。小さい妹や弟がいて、しっかりしたお兄ちゃんを強いられて我慢させてばかりですが、もう少し息子のワガママも聞いてあげられる母親でいたいと思う今日この頃です。

山田 有香

社会福祉法人
ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
 - *「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
Eメール: allhasunomi@hasunominoie.com
 - *「ハッピー」
〒910-4134 福井県あわら市上番 40-12-4
電話・FAX(0776)77-7282
 - *「すまいる」
〒919-0621 福井県あわら市市姫3丁目 14-2
電話・FAX(0776)73-2444
 - *「空と海」
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ脇1丁目 4-3
電話・FAX(0776)81-4746
 - *「友歌里」
〒919-0628 福井県あわら市大溝3丁目 15-17 102
電話・FAX(0776)73-3129
 - *「はさだ」
〒919-0621 福井県あわら市市姫3丁目 14-1
電話(0776)73-5203
- 生活介護事業
 - *「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援B型事業
 - *「わくわくワーク」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19
電話(0776)78-7750 FAX(0776)78-7751
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
 - *「ハスの実パン工房」
〒919-0621 福井県あわら市市姫1丁目 608-2
電話(0776)73-7300 FAX(0776)73-7301
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 相談支援事業所「ハスの実」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
携帯 090-8965-2347
Eメール: hasusoudan@hasunominoie.com
- 居宅介護事業
 - *「ハスの実ヘルパーステーション ともに」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744

ハスの実 お便りクイズ

当月号でも掲載されておりますが、毎年お願いさせていただいております、「きょうされん第43次国会請願署名」の時期となりました。

さて ハスの実 読者クイズ

第3回は署名の請願項目からの出題です。
障害基礎年金の月額額は

2級 ○万5,008円

1級 ○万1,260円

また、障害支援サービスを使う方は法律で
○○歳

になると同じような支援は介護保険を優先して使わなければいけません。障害は変わらないのに無料で使っていた支援に利用料の負担が発生したり、ホームヘルプの時間が短くなったりする問題が起きています。

○○に数字を入れてください。

今月はちょっとむずかしいかな? 答えを書いてどんどんご参加お待ちしております。

応募方法

はがきか Mail(honbu@hasunominoie.com) にクイズの答えと住所・氏名・連絡先を記入の上ご応募ください。締切りは1/20(月)(当日消印有効)。正解者の中から抽選により3名様にハスの実の家オリジナル商品をプレゼント。ふるってご応募ください。

第2回読者クイズの答えは「海・風・11・10」でした。ご応募いただきありがとうございます。当選者は福井市上森田町のFさんと福井市板垣のIさんです、おめでとうございます。

★こちらを読み取って
ハスの実FBに
アクセスしてね!!

